



2022年5月9日

各 位

会 社 名 サンワテクノス株式会社
代 表 者 名 取 締 役 社 長 田中 裕之
(コード番号: 8137 東証プライム市場)
問 合 せ 先 執 行 役 員 管 理 本 部 長 玉 木 克 也
(TEL. 03-5202-4011)

長期ビジョン及び第11次中期経営計画策定に関するお知らせ

当社グループは、2030年度に向けた長期ビジョン「Sun-Wa Vision 2030」及び2023年3月期（第75期）から2025年3月期（第77期）までの3ヶ年を対象とする第11次中期経営計画「SNS2024」を策定いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

記

1. 長期ビジョン（Sun-Wa Vision 2030）

当社グループは、社是「人を創り 会社を興し 社会に尽くす」のもと、グローバルネットワークを活用し、顧客への「最新の情報」「ニーズを捉えたソリューション」「安全安心のサービス」を提供するとともに、パートナー企業との協業により、産業の振興、持続可能な社会の実現に貢献して参りました。近年、グローバルな社会情勢の変化は著しく、先行き不透明な状況が続いており、当社を取り巻く環境は大きく変化しております。当社グループの目指す方向性をより明確にするため、サンワビジョン2025を見直し、新たな長期ビジョン「Sun-Wa Vision 2030」を策定いたしました。今後も持続可能な社会の実現に貢献し、更なる企業価値の向上を目指して参ります。

2. 第11次中期経営計画「SNS2024（Sun-Wa New Stage 2024）」

① 基本方針

- ・イノベーションが求められる成長分野への注力
- ・より高付加価値な製品と新たなソリューションの提供
- ・サステナビリティ経営による持続可能な社会の実現に貢献

② 経営目標（連結）

（単位：百万円）

	2025年3月期 (2024年度)
売上高	195,000
営業利益	7,000
営業利益率	3.6%

なお、詳細につきましては、添付資料をご覧ください。

以 上



Sun-Wa Vision 2030

明るい未来を創るサンワテクノスグループ



— Sun-Wa Vision 2030 —

サンワビジョン2030



使命・存在価値

世界中の技術をつなぎ
新たな価値を創造し
豊かな社会づくりを支える

サンワテクノスグループの目指す姿

“やりたいこと”を“できる”に変える
ものづくりのベストパートナー
～つながりと信頼を世界中に～

ミッションを果たしビジョンを実現するための価値観

- 顧客志向
- チャレンジ精神
- チームワークとコミュニケーション

Mission

使命・存在価値

世界中の技術をつなぎ
新たな価値を創造し
豊かな社会づくりを支える

グローバルネットワークを活かし、
最新の技術提案と最適な製品の提供で
持続可能な社会の発展に貢献します。



Vision

サンワテクノスグループの目指す姿

“やりたいこと”を
“できる”に変える
ものづくりのベストパートナー
～つながりと信頼を世界中に～



Value

ミッションを果たしビジョンを実現するための価値観

● 顧客志向

常にお客様の目線で物事を考える。
お客様と価値観を共有し、真のニーズをくみ取り、
最良の理解者として全力を尽くす。

● チャレンジ精神

自らの成長のために高い目標を掲げ、
変化を恐れず前向きに挑戦する。
創造性・専門性を高め企業活力の向上を図る。

● チームワークとコミュニケーション

相手を尊重し、違いを理解し、その価値を認めることで、
新たな価値を創造する。
パートナー企業を大切にし、総合力を発揮する。





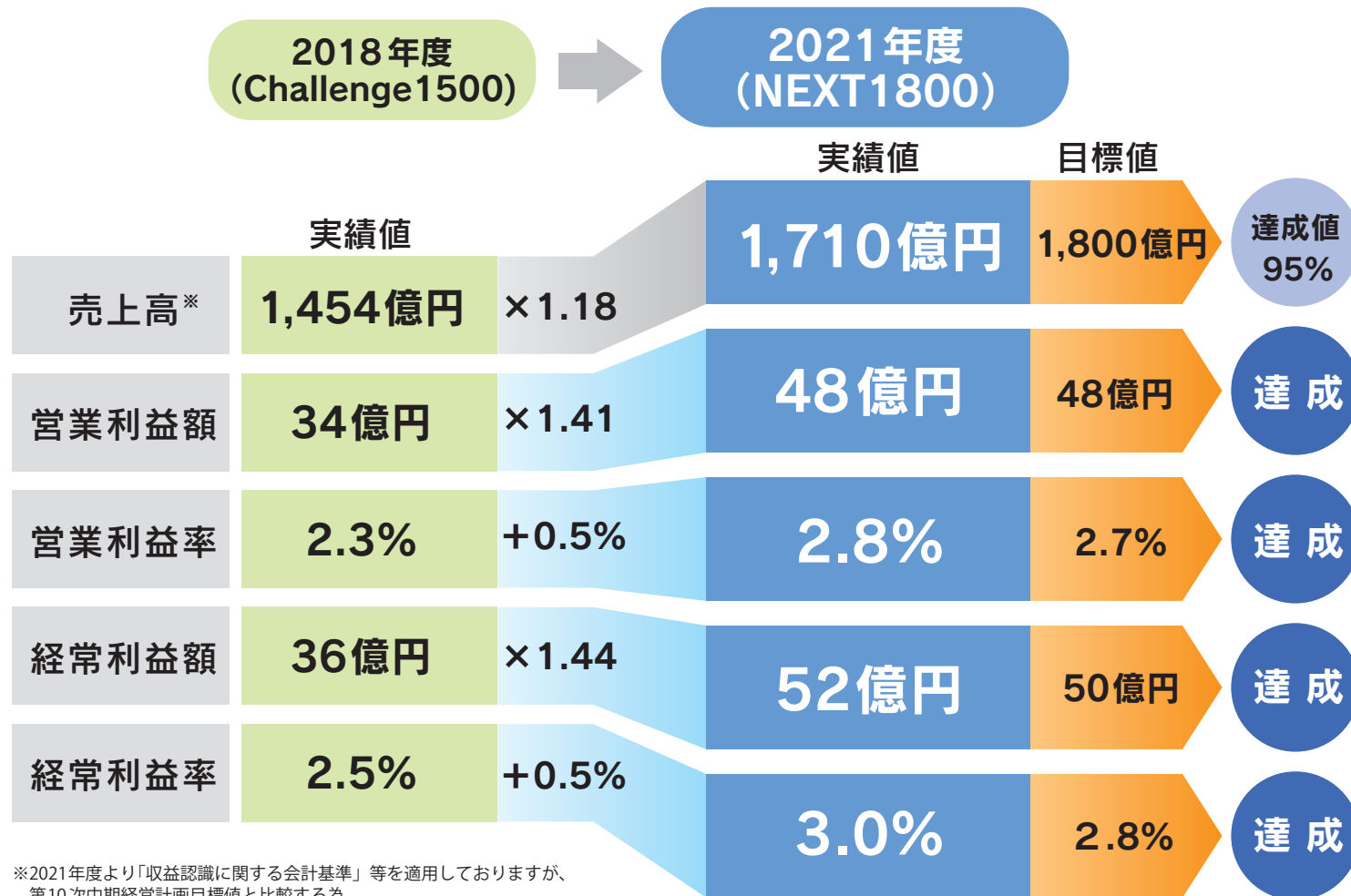
SNS/2024

Sun-Wa New Stage

第11次 中期経営計画
(2022年度～2024年度)

サンワテクノス株式会社
2022年5月9日

第10次 中期経営計画(NEXT1800)の振り返り<業績>



売上高未達の 主な要因

- 米中貿易摩擦の影響
- 半導体の供給不足
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響

利益達成の 主な要因

- 新型コロナウイルス感染拡大下での販売管理費の管理徹底
- ICT活用による販売管理費の削減

※2021年度より「収益認識に関する会計基準」等を適用しておりますが、第10次中期経営計画目標値と比較する為、目標値、実績値ともに有償支給を含んで算出しております。

第10次 中期経営計画(NEXT1800)の振り返り<方針の成果>

方針 01

コアビジネスの強化で
お客様のものづくりに貢献する

- エンジニアリング事業において
売上総利益率 12.2%から 14.0%の
1.8%増を実現
- グローバル SCM ソリューション事業に
おいて売上高 100 億円から 134 億円の
34 億円増加を実現

方針 03

新事業領域へ挑戦し
持続的成長を加速する

- 健康関連事業を拡大
- 脱炭素ビジネスに注力し、
製品の販売を通じて環境に貢献

方針 02

グローバル事業を拡大し
市場の需要をサポートする

- 海外拠点の拡大。ホーチミン・ペナン・
厦門に事務所開設
- 国内拠点の拡大。四国・長岡・甲府・
金沢・北九州にスマート営業所開設
- グローバルリーダー研修制度の確立

方針 04

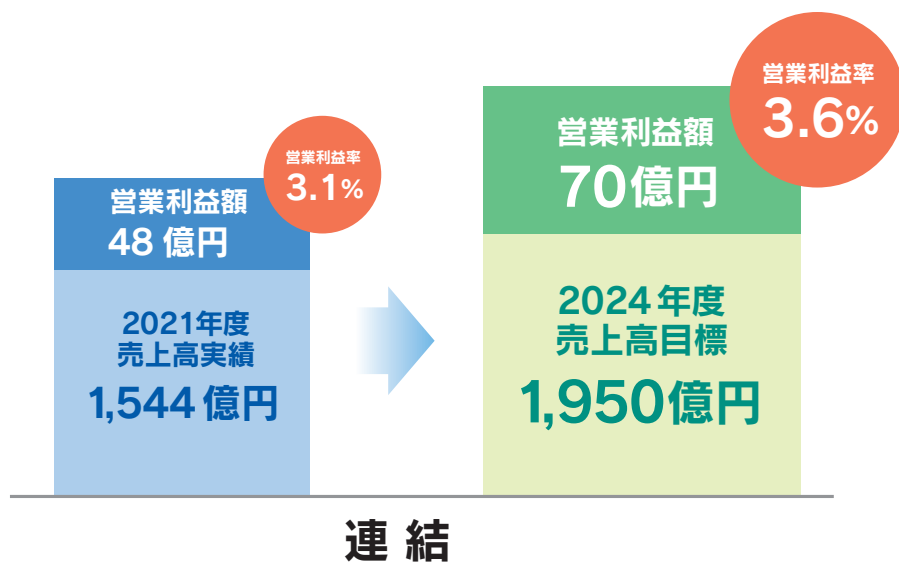
持続可能な
社会の実現への取り組み

- SDGs 重要課題を設定し、
推進活動のために SDGs 推進委員会、
アンバサダーを設置
- ICT活用による働き方改革を推進

第11次 中期経営計画 経営目標〈連結〉

企業価値の向上 2024年度 営業利益 70億円達成

最重要経営指標を『売上高』から『**営業利益**』とする



◆ 連結

	営業利益額	営業利益率	売上高
2024年度目標	70億円	3.6%	1,950億円
2021年度実績	48億円	3.1%	1,544億円

第11次 中期経営計画 経営目標〈個別・海外〉

◆ 個別

	営業利益額	営業利益率	売上高
2024年度目標	42.5 億円	3.0%	1,427 億円
2021年度実績	30.4 億円	2.6%	1,158 億円

◆ 海外

	営業利益額	営業利益率	売上高	海外売上高比率
2024年度目標	27.5 億円	3.5%	786億円	40%
2021年度実績	18.6 億円	3.2%	590 億円	38%

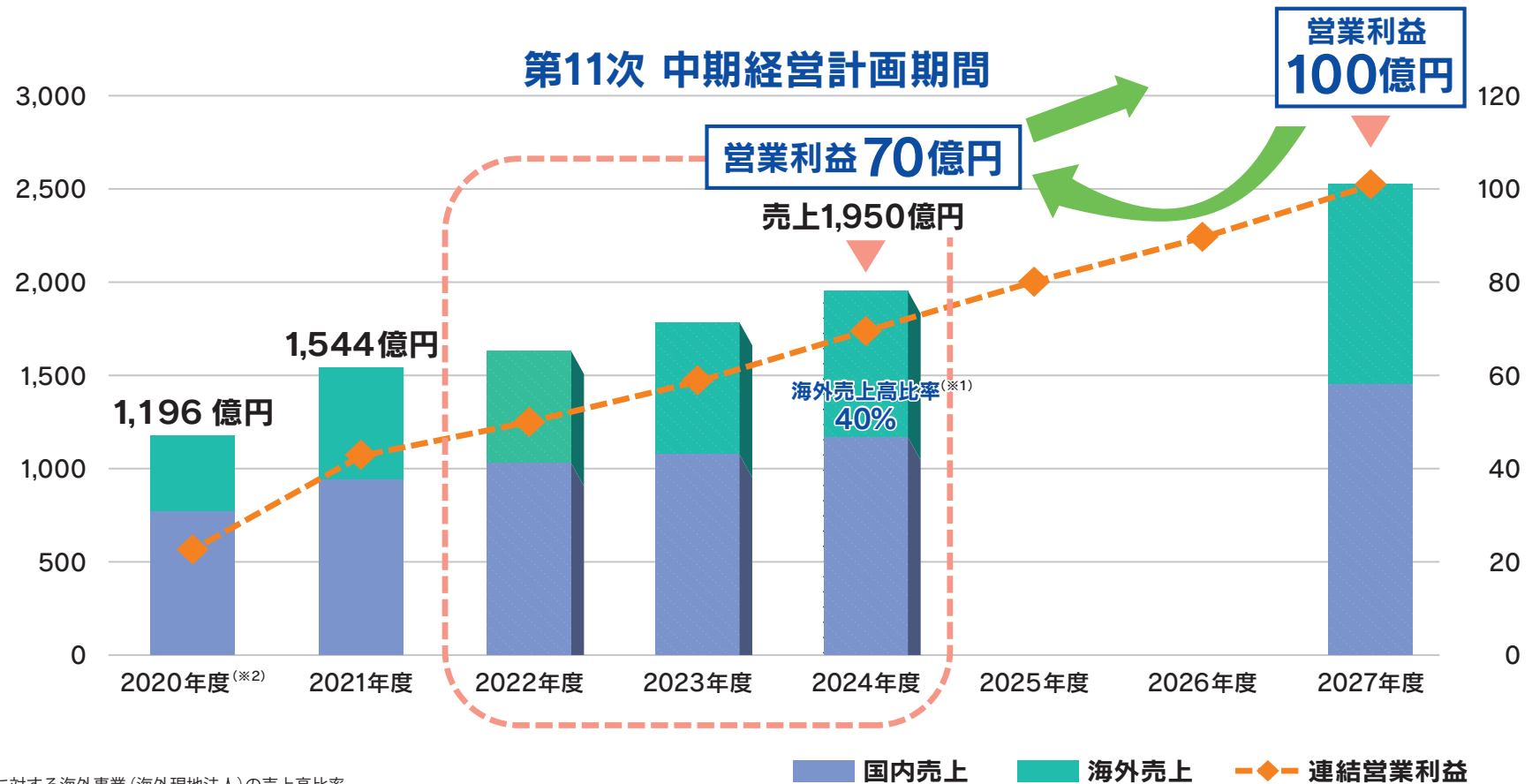
- 海外売上高比率[※] : 40%
- 営業利益額 個別 : 42.5 億円
海外 : 27.5 億円

※連結売上高に対する海外事業（海外現地法人）の売上高比率

経営目標の位置づけ

2027年度：営業利益100億円達成を目指す

第11次 中期経営計画最終年度(2024年度)：営業利益70億円(売上1,950億円)達成



※1. 連結売上高に対する海外事業(海外現地法人)の売上高比率

※2. 2021年度より「収益認識に関する会計基準」等を適用していることに伴い、2020年度も同基準で算出しております。

基本方針

グローバルサプライチェーンのプロフェッショナルとして
"つながり"と"信頼"でものづくりの未来を支える

Challenge

01

イノベーションが求められる成長分野への注力

- リソースを投入する顧客セグメントの特定
- 顧客セグメント別戦略実行計画の策定
- 戦略実行による売上総利益の向上

Challenge

02

より高付加価値な製品と新たなソリューションの提供

- 顧客セグメントごとに最適な製品・ソリューションの提供
- DXによる業務効率化と提供価値向上
- 地域密着とグローバルネットワークで海外シェア拡大

Challenge

03

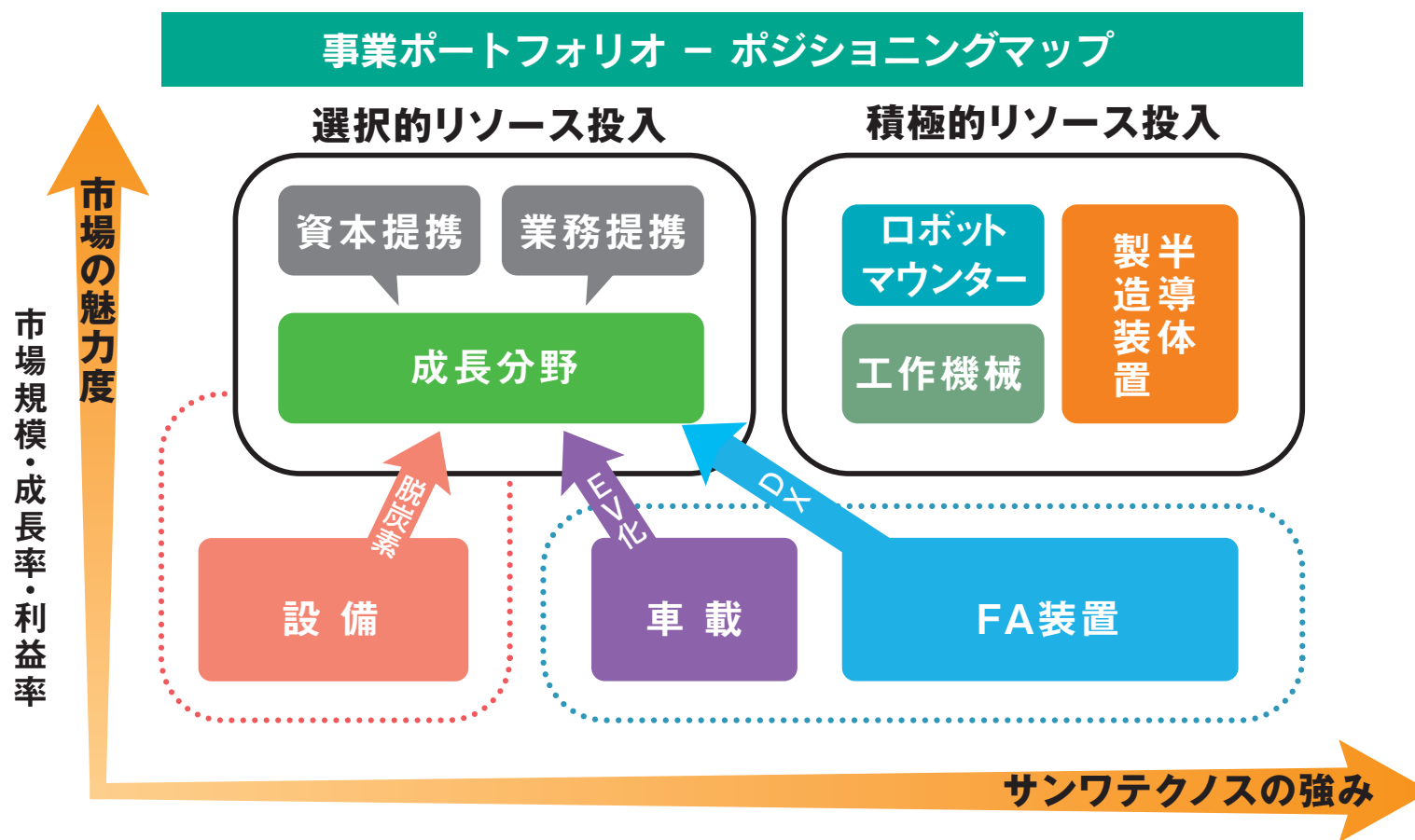
サステナビリティ経営による持続可能な社会の実現に貢献

- サステナビリティ課題への取り組みを実効的に進める
- サプライチェーン全体で脱炭素社会に貢献する
- 持続的成長を支える多様な人材の育成と活躍推進

イノベーションが求められる成長分野への注力

リソースを投入する顧客セグメントの特定

各セグメントをポジショニングしポートフォリオ上の位置付けで
戦略的にリソースの投入施策を意思決定



顧客セグメント別 戦略実行計画－戦略方針と成長性

積極的リソース投入セグメント

製造装置
半導体



半導体が国力を上げる時代、経済安全保障の側面からも
更なる成長が期待でき、当社の強みが発揮できる重要セグメント

- 顧客と性能向上に繋がる共同テーマの獲得
- ユニット組立の提案
- 新規仕入先の開拓

2021年度→2024年度
目標利益成長率

15%/年以上

ロボット
マウンター



技術革新が著しい高成長分野において
当社が優位性を発揮し易いセグメント

- 顧客ごとに製品別インシエアアップ
- 周辺機器の新規開拓
- ニーズを集約し、業界に特化した製品の企画

2021年度→2024年度
目標利益成長率

10%/年以上

工作機械



世界のモノづくりを支える「マザーマシン」の
高性能化、自動化、デジタル化で成長が見込める注力セグメント

- 周辺機器の新規開拓
- IoT化により重要度が増す FAPC の提案
- BCP 対策としてグローバル SCM を提案

2021年度→2024年度
目標利益成長率

10%/年以上

顧客セグメント別 戦略実行計画－戦略方針と成長性

選択的リソース投入セグメント

FA
装置



顧客層が広く製品品種が多岐にわたる基盤セグメント

- グローバルな FA コンポ業界へ注力
- 量産アプリケーションを軸とした戦略製品の創出
- デジタルツール積極活用による情報発信の強化

2021年度→2024年度
目標利益成長率

10%/年以上

車
載



100年に一度の変革期を迎え、CASE などによる電装システムのニーズが高まっているセグメント

- 既存製品の横展開による新規顧客開拓
- 新規戦略製品をグローバルに開拓
- 新規取引先開拓のための組織構築

2021年度→2024年度
目標利益成長率

10%/年以上

設
備



対象業界が広く、自動化やサステナビリティ対応への技術的ニーズが高まっているセグメント

- 営業とエンジニアリングが一体となった顧客への提案
- 食品業界へ注力した SI との協業
- 設備のパッケージ化と横展開で収益性向上

2021年度→2024年度
目標利益成長率

10%/年以上

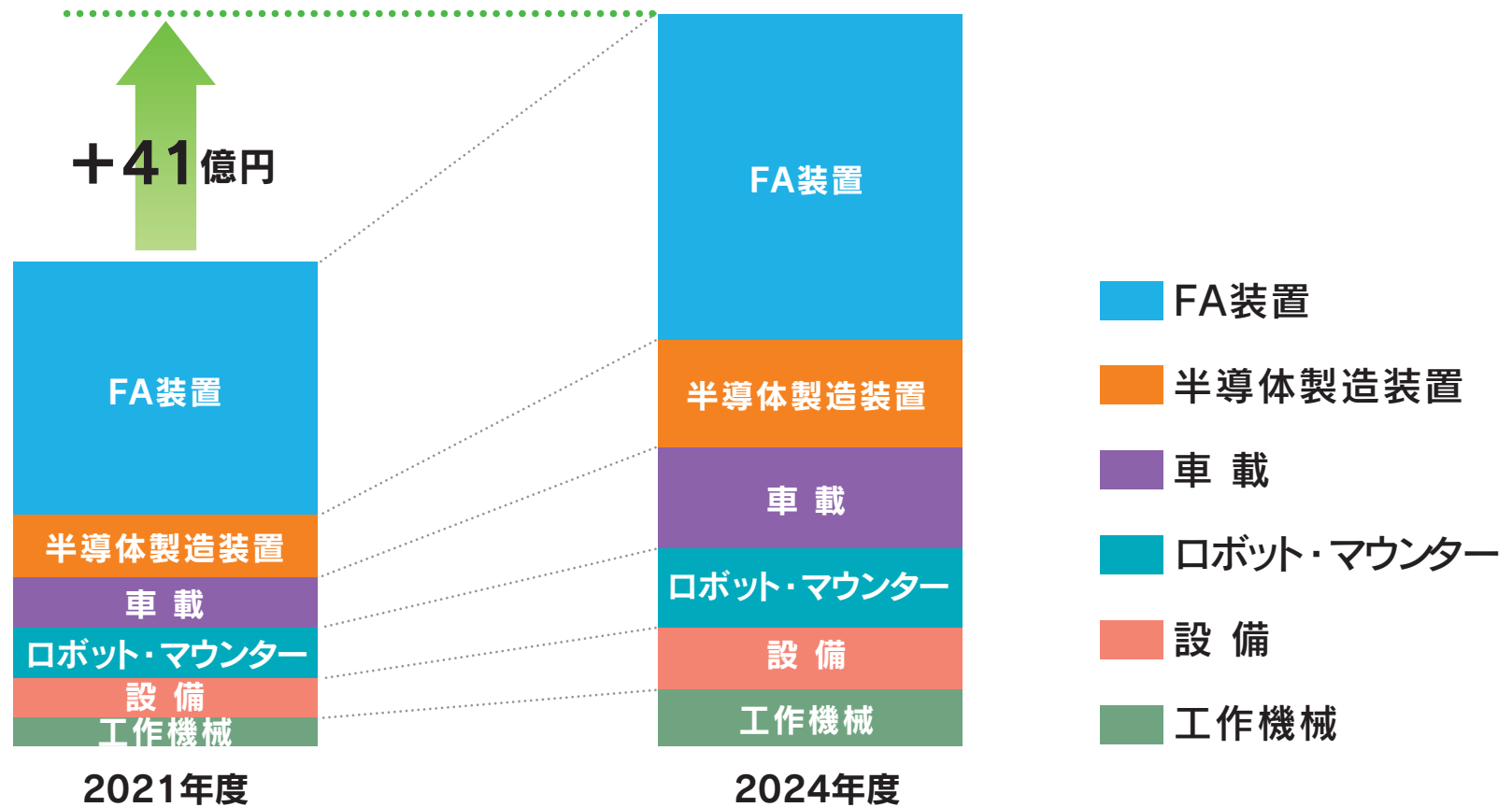
顧客セグメント別ー売上総利益 増額目標

戦略実行による売上総利益の向上

戦略意義	セグメント	売上総利益 目標成長率 (年平均)	2024年度 売上総利益 増額合計
積極的 リソース投入 セグメント	半導体 製造装置	15%以上	+41億円
	ロボット マウンター	10%以上	
	工作機械	10%以上	
選択的 リソース投入 セグメント	FA装置	10%以上	
	車載	10%以上	
	設備	10%以上	

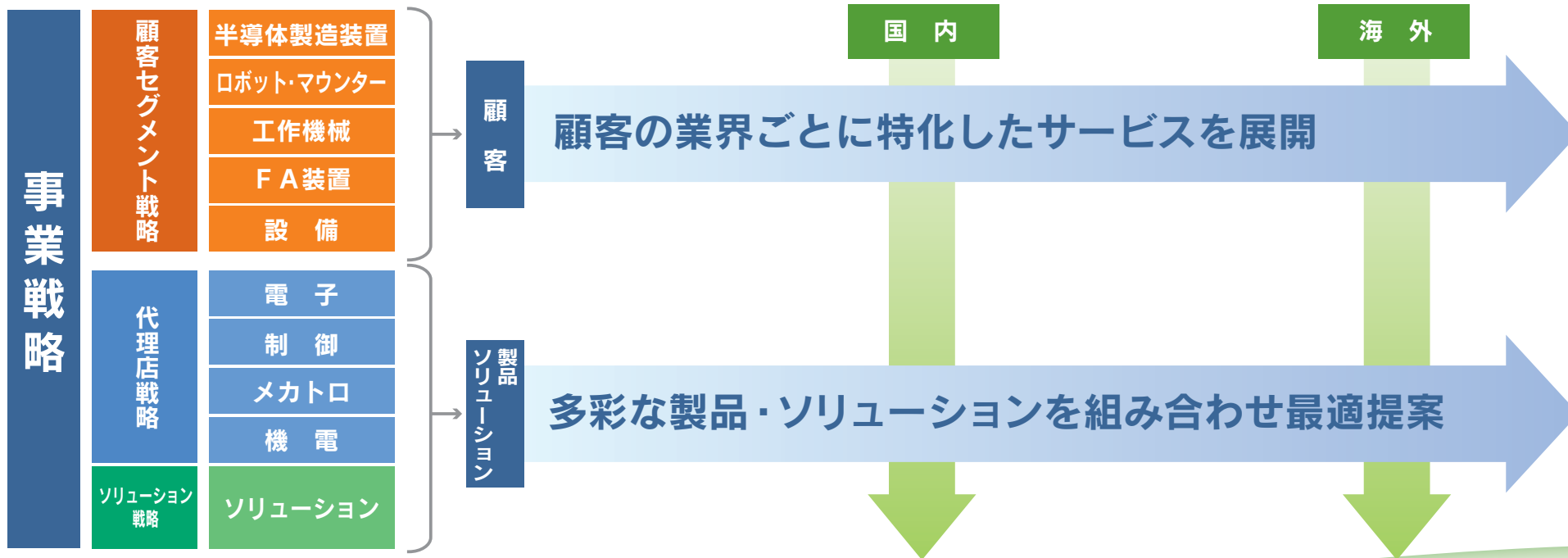
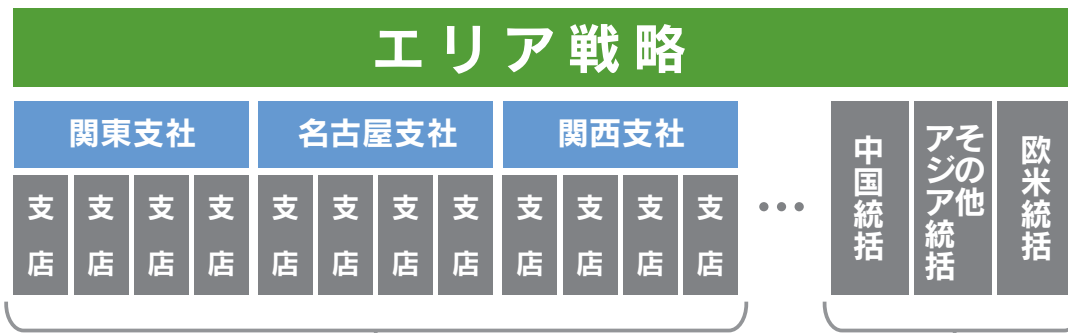
顧客セグメントごとに戦略方針を実行し、売上総利益を41億円増加させることで
2024年度営業利益目標70億円の達成を目指す

売上総利益の成長イメージ



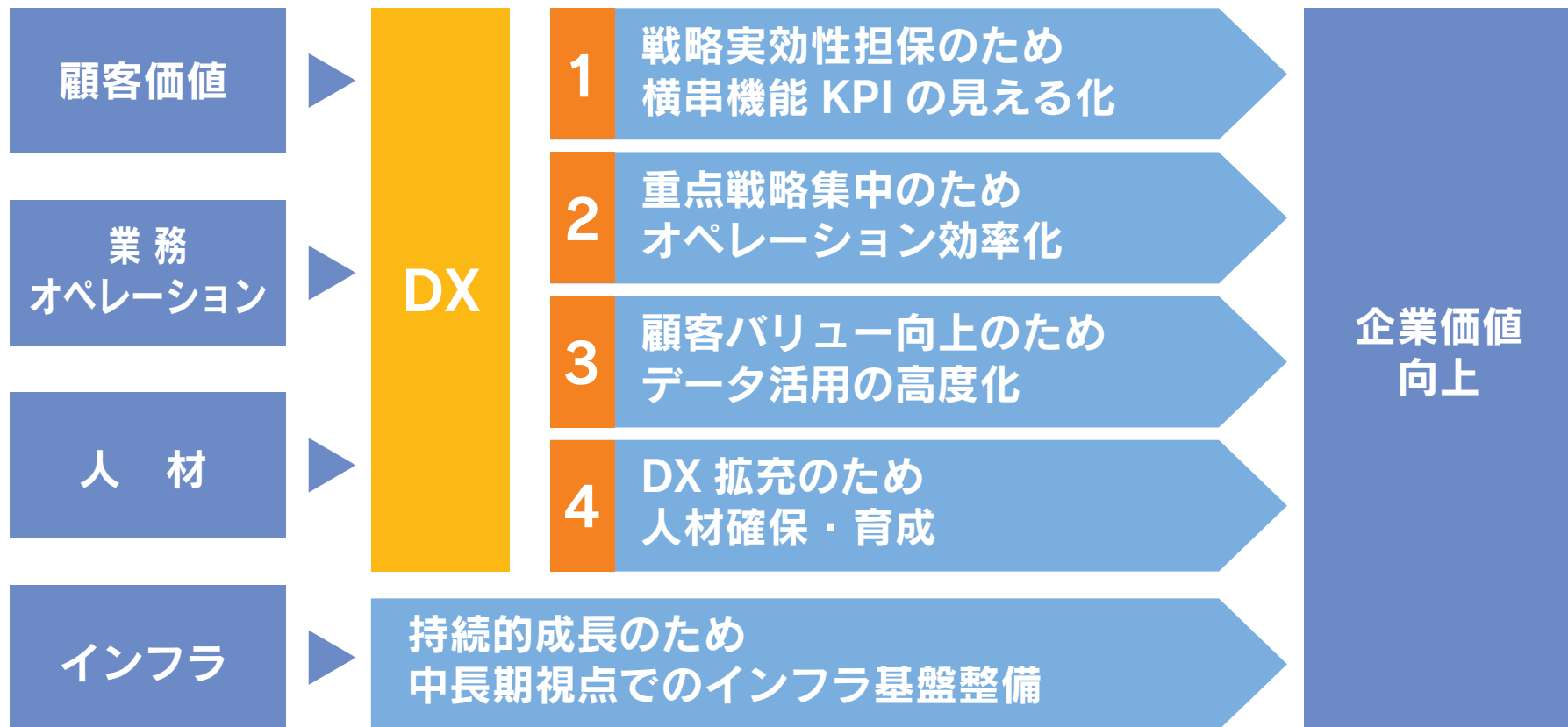
より高付加価値な製品と 新たなソリューションの提供

顧客セグメントごとに最適な製品・
ソリューションの提供



DXによる業務効率化と提供価値向上

各種 DX 化を推進し、企業価値向上を目指す



地域密着とグローバルネットワークで海外シェア拡大

サンワテクノスグループ グローバル戦略方針

- 地域に根差し、ボーダレスな活動を通して世界中のお客様とイノベーションを生み出します
- 世界中の先端技術と製品を、世界中の生産現場へお届けします
- 技術の橋渡しで地球規模の課題を解決します

世界中の技術をつなぐ、イノベティブパートナー

地域戦略方針

中国地域

- ◆拠点の拡充（20 拠点）
- ◆最新技術と高品質なサービスの提供
- ◆現地社員にマッチした制度づくり

その他アジア地域

- ◆安定した経営基盤の構築
- ◆代理店としての販売力強化
- ◆総合的に販売する組織づくり

欧米地域

- ◆新規事業挑戦による売上拡大
- ◆製品のグローバル輸出販売
- ◆サンワテクノスの知名度向上

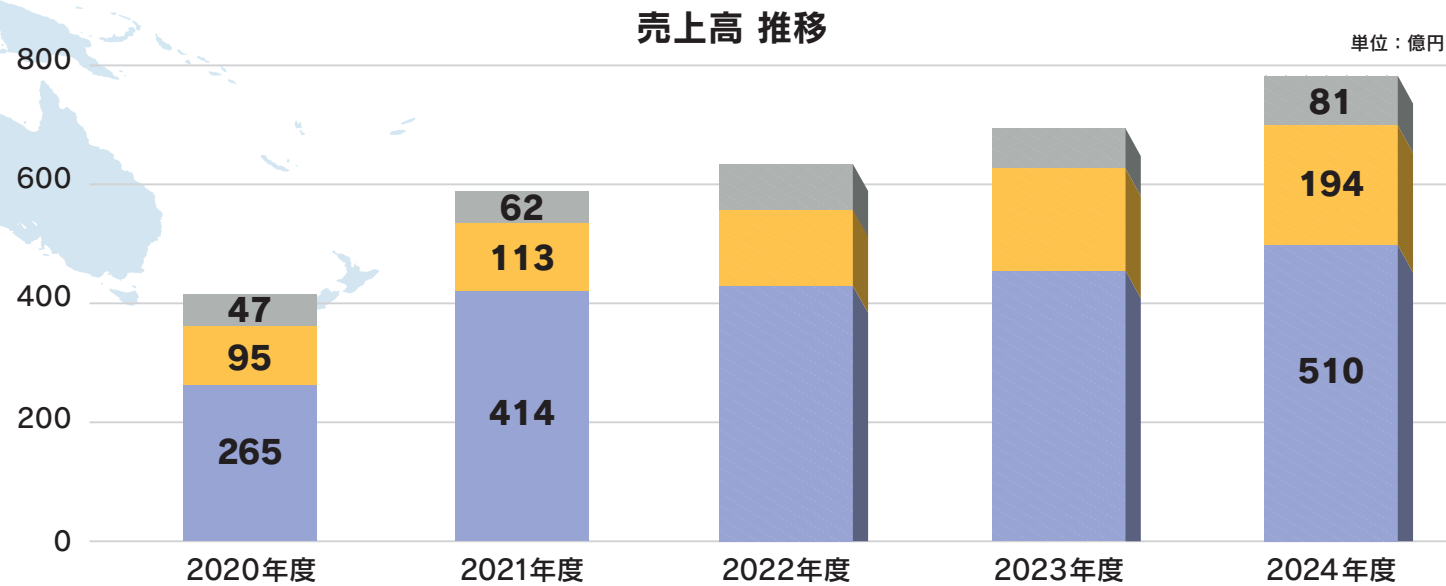
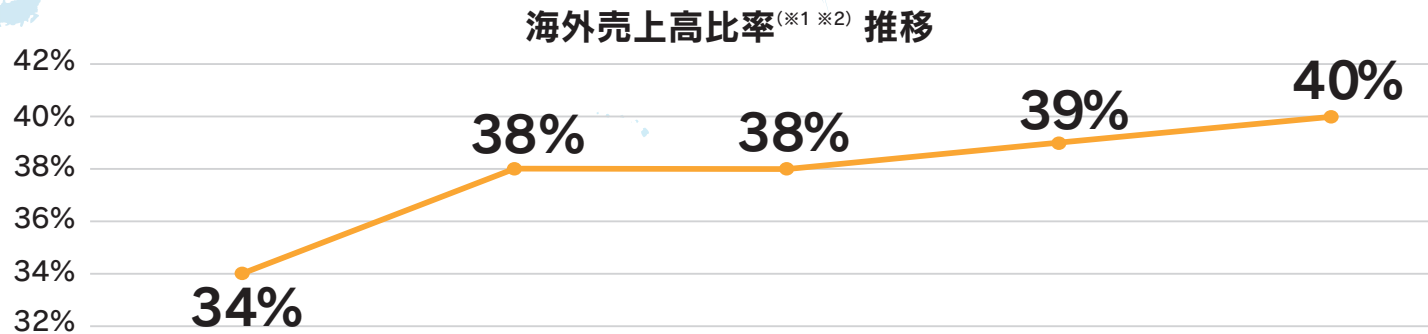
経営目標－海外地域別

2024年度 海外営業利益 27.5億円達成

中国：18.5億円、その他アジア：7.8億円、欧米：1.0億円

	営業利益額	営業利益率	売上高	売上高成長率 (年平均)
2024年度目標	27.5 億円	3.5%	786 億円	10.0%
中 国	18.5 億円	3.6%	510 億円	7.2%
その他アジア	7.8 億円	4.0%	194 億円	19.6%
欧 米	1.0 億円	1.2%	81 億円	9.8%
2021年度実績	18.6 億円	3.2%	590 億円	
中 国	15.2 億円	3.7%	414 億円	
その他アジア	3.9 億円	3.5%	113 億円	
欧 米	△0.5 億円	—	62 億円	

経営目標－海外地域別・売上高



※1. 連結売上高に対する海外事業（海外現地法人）の売上高比率

※2. 2021年度より「収益認識に関する会計基準」等を適用していることに伴い、2020年度も同基準で算出してあります。

■ 中国 ■ その他アジア ■ 欧米

サステナビリティ経営による 持続可能な社会の実現に貢献

サステナビリティ基本方針

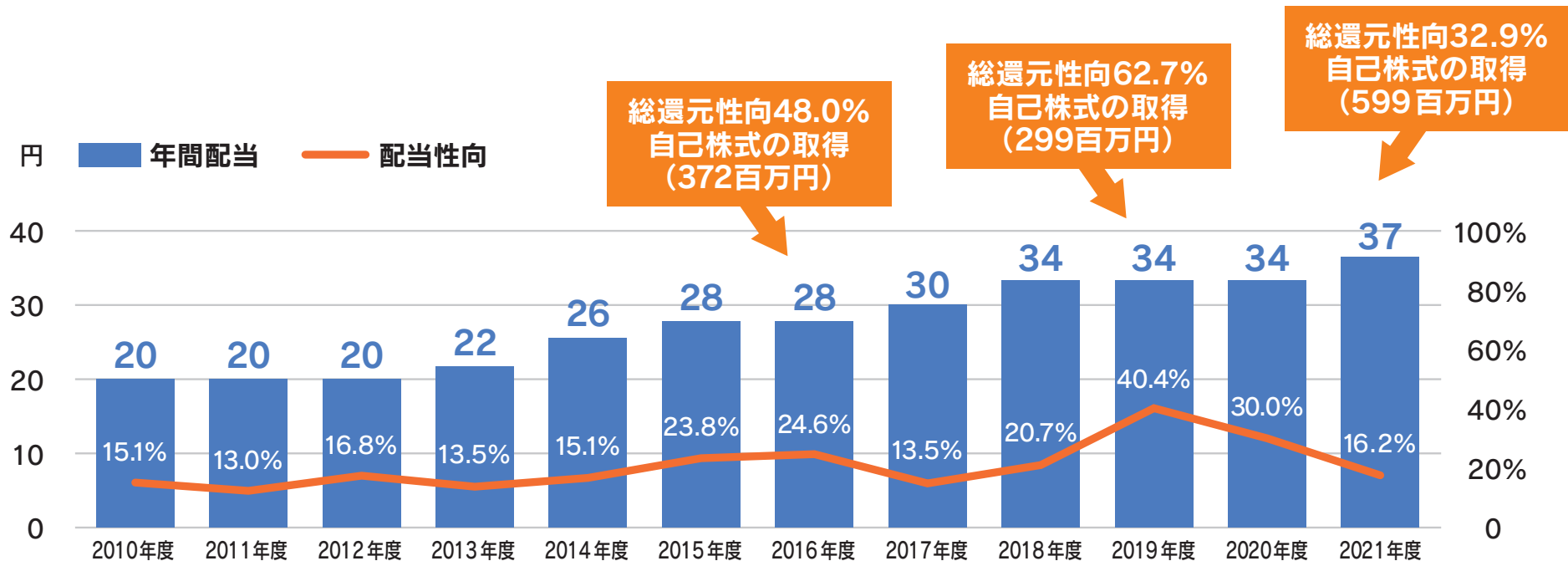
私たちサンワテクノスグループは
社業を通じて社員の育成を図るとともに、
地球環境や、社会課題への対応を経営方針の
最重要事項のひとつとして捉え、
「人を創り 会社を興し 社会に尽くす」の社是のもと、
「持続可能な社会への貢献」と「持続的な企業価値の向上」
の2つのサステナビリティの実現を目指します。



サステナビリティ 5つの重要課題

株主還元の方

- 持続的な成長と企業価値の向上のための積極的な事業展開や様々なリスクに備えるための財務健全性とのバランスを考慮
- 安定配当を維持しながら中長期的な視点で連結業績に応じた利益還元を行う
- 株主還元や資本効率向上のため、時期及び財政状況に応じて機動的に自己株式の取得を実施



本資料取扱い上の注意点

- 本資料における将来予想は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済や当社の関連する業界動向、新たな技術の進展等により変動することがあります。
- 従いまして、実際の業績等が記載の予想数値と異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。